



# BUSINESS REPORT

T O B E T H E L E A D I N G F O O D S E R V I C E E N T E R P R I S E



COourage LOve WIsdom DEcision  
Colowide's name expresses our attitude toward our efforts to  
provide more comfortable, enjoyable settings.

第**61**期 事業報告書

2022.4.1—2023.3.31

## 株主の皆様へ



株主の皆様には、平素より格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。  
さてここに、当社グループの第61期（2022年4月1日から2023年3月31日まで）  
の業績についてご報告申し上げます。

代表取締役社長 野尻 公平

### ◆ 我が国の経済動向

当連結会計年度における我が国経済は、新型コロナウイルス感染症に対する行動制限の緩和以降、インバウンドの再開や全国旅行支援等の政策効果もあり、緩やかながら景気回復への動きが見られました。しかしながら、円安傾向の継続や資源及びエネルギー価格の高騰等、依然として先行き不透明な状況が続いております。世界経済につきましても、ウクライナ情勢の長期化や根強いインフレにより、景気減速に対する懸念が継続しております。

### ◆ 外食産業の動向

外食産業におきましては、度重なる変異株の流行拡大の影響を受けながらも、ウイズコロナ下で経済活動が徐々に正常化に向かうなど全体の需要としては回復傾向にあるものの、コロナ禍を契機にした生活様式の変化によって、大型の宴会需要や深夜時間帯の利用客が大幅に減少しております。また消費者の節約志向や選別志向の高まりに加え、食材の仕入価格の高騰、物流費、光熱費、人件費等のコスト上昇にも悩まされており、厳しい経営環境が続いております。

このような状況の中、当社グループでは事業環境の変化に順応した取組みを強化しております。

### ◆ 店舗施策

店舗施策と致しましては、都心よりも郊外、アルコール利用よりも食事利用の需要回復が早い状況を踏まえて、店舗立地の見直しによる出退店を進め、居酒屋業態店舗のレストラン業態への転換を進めるなど、消費者ニーズに対応した事業ポートフォリオの最適化を図っております。店舗施設に関しましては、清潔感や広い空間を意識した改装を積極的に進め、自動案内システムの設置や配膳ロボットが最大限活用できるレイアウトへの変更、完全キャッシュレス店舗を新たに開発するなど、お客様の体験価値を高めるだけでなく生産性を高める投資を進めております。

### ◆ 営業施策

営業施策と致しましては、インバウンドの需要回復をいち早くキャッチして、国内外の旅行者と提携することでパッケージツアーにおけ

る食事の場の提供を進めております。また食事利用や小グループ利用への需要シフトを踏まえて、居酒屋業態においても食事メニューを強化すると共に、アルコール関連商品に関して低価格を訴求し、食事と共に気軽に楽しめる居酒屋業態へと転換を図っております。また引き続き従業員の適切な配置転換並びに適正労働時間の算出に基づく、人材の活性化及び人件費の抑制も行っております。

### ◆ コスト上昇への対応

原材料及び物流費の上昇に対しましては、グループインフラの整備を継続して行っております。昨年10月にはコロナワイドMD研究所を設立し、グループ各社の原材料の共通化や規格の統一、食材を起点とした歩留まりの向上を意識したメニュー開発、原材料廃棄ロスの低減等を進めております。また食材配送拠点の集約や配送頻度の最適化にも努めており、更なる物流効率化に向けた取組みを継続的に進めております。

### ◆ 海外事業

海外事業につきましては、いずれの国・地域も当連結会計年度中盤から行動制限や入国制限等の規制緩和が進み、回復基調に転じております。情勢に合わせた販売戦略の効果もあり、多くの地域でコロナ禍前の売上水準に戻ってきております。

### ◆ 店舗の出退店

店舗の出退店につきましては、直営レストラン業態を56店舗及び直営居酒屋業態を2店舗、合計58店舗を新規出店致しました。一方、直営レストラン業態を49店舗、直営居酒屋業態を80店舗、合計129店舗を閉店致しました。その結果、当連結会計年度末の直営店舗数は1,362店舗、FCを含めた総店舗数は2,640店舗となっております。総店舗数に占めるレストラン業態の比率は89.5%、居酒屋業態の比率は10.5%と着実に事業ポートフォリオの最適化を進めております。

### ◆ 2023年3月期の業績について

以上の取組みに加え2024年3月期以降の抜本的な収益改善に向

け、一過性の費用として減損損失70億61百万円を計上致しました。

過去数年に亘り店舗等の固定資産に対する減損損失を計上して参りましたが、コロナ禍が沈静化した後の市場環境に対する見通しが、より明瞭になりつつあることを踏まえ、将来的にリスクが生じる恐れがあるものを含め今回処理を行いました。これには事業ポートフォリオの見直し等による、2024年3月期の閉店予定37店舗分も含んでおります。

加えて、当社の連結子会社である㈱レイズインターナショナルにおいて、コロナ禍からの業績回復状況を踏まえ将来的な計画を見直した結果、同社の居酒屋業態に係るのれんに対し7億90百万円の減損損失を計上しております。

このようなことから当連結会計年度の連結業績につきましては、売上収益が2,208億30百万円、事業損失が1億96百万円となりました。また上述の減損損失を計上したことにより、当期損失が85億79百万円、親会社の所有者に帰属する当期損失が68億1百万円となりました。

当社グループのセグメント別の売上収益につきましては、㈱コロワイドMD779億38百万円、㈱アトム352億66百万円、㈱レイズインターナショナル875億92百万円、カップ・クリエイト㈱704億38百万円、㈱大戸屋ホールディングス238億47百万円、その他84億80百万円となっております。

尚、各セグメント別の売上収益は、セグメント間の内部売上収益又は振替高等を考慮しておりません。

## ◆ 今後の見通しと展望

2024年3月期につきましては、新型コロナウイルス感染症が経済に与える影響は徐々に薄れてゆくと思われるものの、引続きウクライナ情勢の長期化や根強いインフレ等による世界経済の減速、物価上昇に伴う消費マインドの停滞等が懸念されております。外食産業におきましては、コロナ禍を経た生活様式の変化や節約志向・選別志向と

いった消費者ニーズへの対応に加えて、原材料や物流費をはじめとしたコスト上昇への対応を求められており、事業を取り巻く環境は依然として厳しい状況が続くものと予想しております。

このような事業環境の中、当社グループは中長期的な企業価値の向上を展望し、新たな成長ビジョン「COLOWIDE Vision 2030」を策定しております。国内外食事業を事業基盤としつつも、市場の拡大が見込まれる海外外食事業、また新規に参入した給食事業の成長を通じて、2030年3月期までに連結売上収益5,000億円の達成を目指し、中長期的な企業価値の向上に努める所存であります。

国内外食事業につきましては、引続きレストラン業態を中心とした新規出店、経年店舗の改装、リロケーションや業態転換に加えて、M&Aによるシェア拡大を目指します。

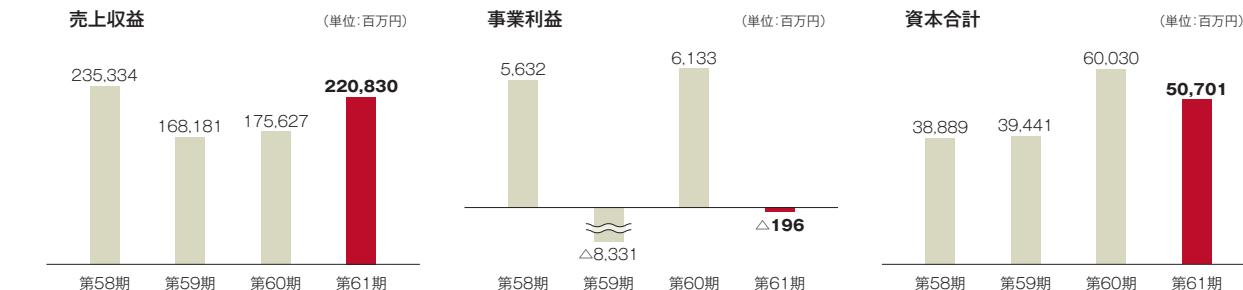
海外外食事業につきましては、生産年齢人口を主眼として成長余地が大きなマーケットを選択し、焼肉業態及び回転寿司業態を中心に出店を行ってまいります。既に展開しているアジア諸国及び北米の事業強化に加え未出店エリアの開拓を模索することで、収益の伸張を図ります。

給食事業につきましては、病院給食及び介護施設給食への参入による事業規模の拡大を展望しており、外食市場での競争により培ったメニュー開発力や高い運営効率、セントラルキッチンを活用したミールキットによる調理効率の向上により、フードサービスカンパニーとしての優位性を活かした展開を行ってまいります。

更に社会的な責任を果たして長期に亘って成長を続けるため、サステナビリティの推進にも注力しております。当社として重点的に取り組んでゆく5つのマテリアリティ(重要課題)、「地球環境への貢献」「食の安全・安心の提供」「働く仲間の成長と多様性の尊重」「地域・社会への貢献」「経営基盤の強化」に基づいて引続き活動して参ります。

株主の皆様におかれましては、今後とも変わらぬご支援、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

## 連結財務ハイライト



※事業利益＝売上収益－売上原価－販売費及び一般管理費

## ■ グループの事業について

### 社名の由来

COLOWIDE (コロワイド) の社名にこめられた意味

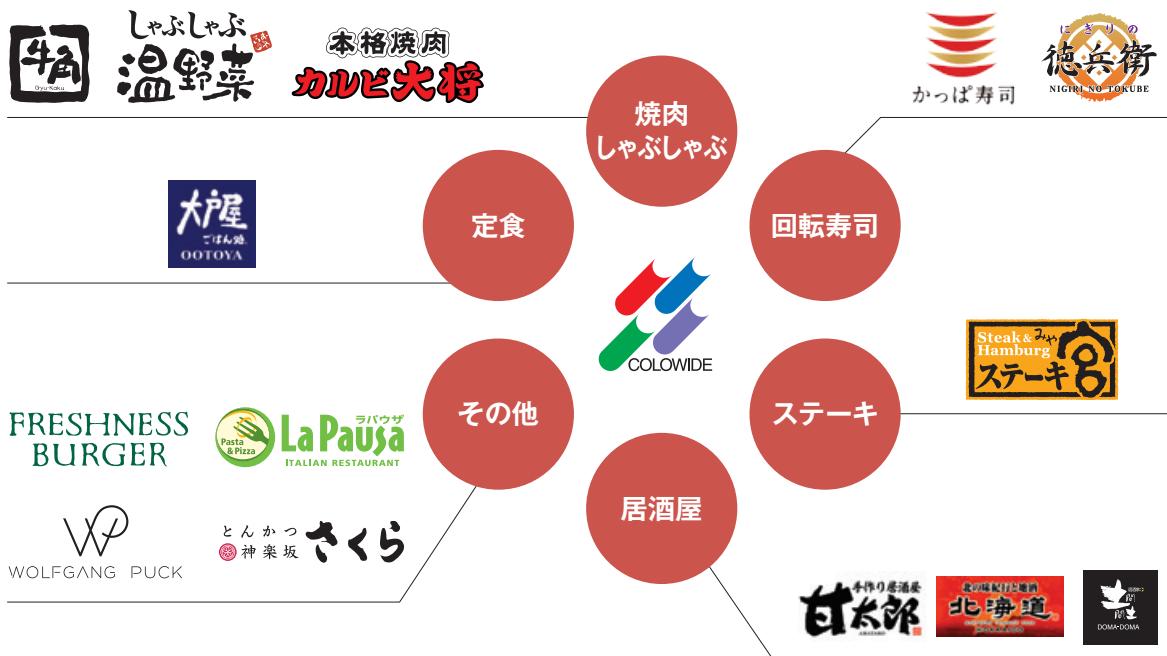


- CO …… 勇気 (Courage)
- LO …… 愛 (Love)
- WI …… 知恵 (Wisdom)
- DE …… 決断 (Decision)

#### 4つのファクターをひとつに

コロワイドの社名は、人が生きていく上で大切な4つのファクターを、ひとつにまとめたものです。従業員一人一人がこの4つの大切な精神を常に心にきざみ、未来にチャレンジしていく強い意志と勇気がこめられた社名です。

### 業態別コアブランド



# グループ体制と出店状況

## ■グループ体制

(2023年3月末現在)



**株式会社コロワイド  
(持株会社)**

東証プライム 証券コード 7616

この他に、中間持株会社として  
(株)レックス、(株)SPCレックス、  
(株)SPCカッパ及びAME-GYU  
CO.,LTD.があります

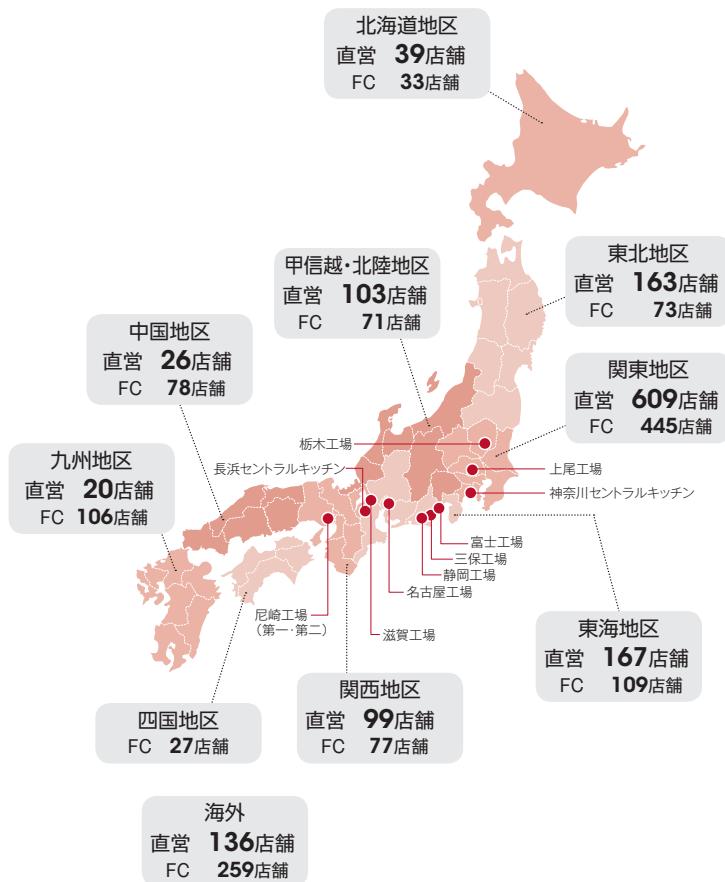


## ■地域別店舗分布及びセントラルキッチン網

(2023年3月末現在)

直営店  
**1,362**店舗

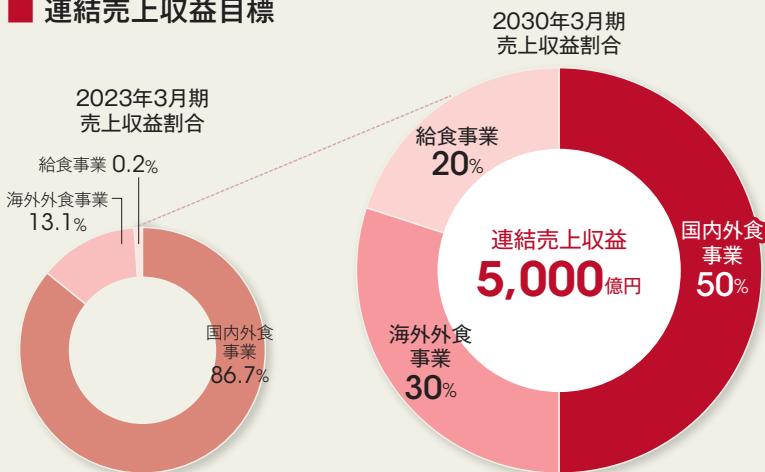
FC店  
**1,278**店舗



# COLOWIDE Vision 2030 新中期経営計画

国内外食事業を事業基盤としつつも、マーケットの拡大が見込まれる海外外食事業及び給食事業(病院・介護施設)の成長を通じて、2030年3月期に連結売上収益5,000億円の達成を目指す

## ■ 連結売上収益目標



### 国内外食事業を取り巻く環境

国内総人口の減少      日本の購買力が低下      国内賃金水準は正の遅れ

外食消費が停滞し、国内外食事業だけでは成長機会が限られる可能性

### 新たな方向性

国内外食事業	M&Aによるシェアアップと収益改善による安定的な成長
海外外食事業	事業の位置付けの抜本的な見直しとリソース投入による成長機会の獲得
給食事業	病院・介護分野への参入による事業領域の拡大

## 国内外食事業の再構築

### ■ レストラン業態の郊外・ロードサイドへの積極出店

<出店強化業態>



### ■ 国内既存店舗への再投資

<改装投資の対象となる主要業態>



<業態転換> (寧々家 ▶ ステーキ宮の事例)



### ■ M&Aによる新たな成長軸の獲得

#### M&A候補と考え方

新たなライフスタイルとの親和性

既存業態の転換受け皿

グループインフラによるシナジー

## 海外外食事業の成長

### ■ 既存地域(北米・東アジア・ASEAN)における積極的な新規出店

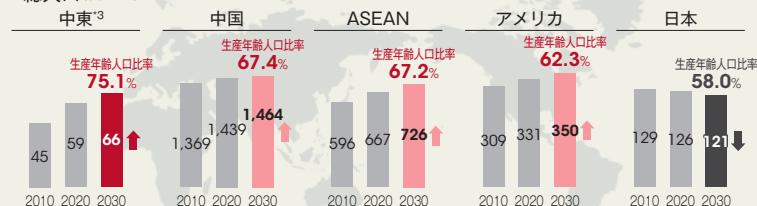
<海外展開の状況> (店舗数はいずれも2023年3月末現在)



\*1 みつもり、天ぷら「まつ井」を含む \*2 釜飯定食かまどかを含む

### ■ 今後の市場成長余地が大きいマーケットに対して現地ニーズと親和性の高い自社業態を積極的に出店

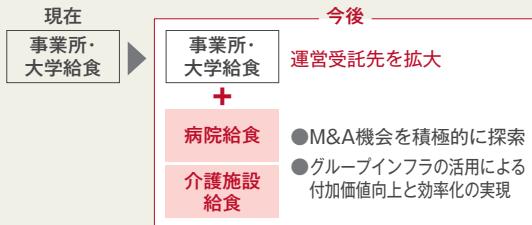
<総人口(百万人)>



出所「World Population Prospects」United Nations(2019) / 2020,2030数値についてはいずれも推計値  
\*3 GCC諸国(サウジアラビア、アラブ首長国連邦、バーレーン、オマーン、カタール、クウェート)

## 給食事業の飛躍的拡大

### ■ 病院・介護施設を対象とした給食事業領域への参入



### ■ フードサービスカンパニーとしての優位性を活かした展開



## グループインフラの整備・拡大

研究機能やセントラルキッチン・工場へ投資を行うことで、競争力を高めると共に更なるグループシナジーの創出を実現

### ■ 研究機能の強化、持続的な食材調達

#### <MD研究所>

・グループ一括で調達する食材を起点とした各業態メニューの開発



#### <大豆ミート製造ライン>

・MD研究所を活用し大豆ミートを利用した業態横断メニューの開発



#### <農産分野(検討中)>

・水耕栽培による野菜工場  
・農業法人との連携による安定調達



#### <水産分野(研究中)>

・サーモン等の陸上養殖



### ■ 設備インフラの拡充

#### <顧客体験価値と生産性の向上>

・セルフレジ、スマホオーダー等による非接触オペレーションの推進



#### <太陽光発電設備の導入>

・主力5工場への導入(神奈川、静岡、三保、長浜、栃木工場)



## グループ会社紹介



**REINS** international inc.  
株式会社レインズインターナショナル

「牛角」「しゃぶしゃぶ温野菜」を中心に  
国内外で直営店・FC店を展開

「牛角」「しゃぶしゃぶ温野菜」「手作り居酒屋 甘太郎」など国内における直営飲食店の運営の他、国内外でFC（フランチャイズ）事業を展開しています。直営店にFC店舗も含めた店舗網は全都道府県に展開しており、コロナ禍MDのマーチャンダイジング機能が有効に活用され、大きなシナジーを生んでいます。また日本国内で気軽に楽しめる食文化として定着している焼肉は、海外でも「YAKINIKU～JAPANESE BBQ」として普及しつつあり、アジア・北米において「牛角」「しゃぶしゃぶ温野菜」を中心に283の店舗網を構築し、事業のグローバル化を進めています。



甘太郎



牛角食べ放題専門店(外観)



しゃぶしゃぶ温野菜



牛角



郊外型レストラン「ステーキ宮」をはじめ  
目的性の強い外食ニーズに対応

主に中部、東北、北関東地区において、郊外型レストラン、居酒屋を中心に店舗展開をしています。「ステーキ宮」をはじめ、グルメ回転寿司「にぎりの徳兵衛」、焼肉「カルビ大将」、カラオケ「時遊館」など、来店目的が明確な業態展開と家庭ではなかなか体験できない様々な料理や高いレベルのサービスを提供することによって、お客様の体験価値向上に取り組んでいます。現在、アトムでは外食事業を通じ、地域社会・地域経済との共存共栄を図り、その地域においてなくてはならない存在となる企業活動を行っていくことで、社会の持続的な発展への貢献を目指しております。



ステーキ宮



ステーキ宮(外観)



にぎりの徳兵衛



カルビ大将



## カッパ・クリエイティブ

### 「かっぱ寿司」のフルオーダー改装を推進 回転寿司のパイオニア

回転寿司事業である「かっぱ寿司」のリブランディングに取り組むカッパ・クリエイティブは、リーディングカンパニーとしてのポジションを奪回するため、新たなマーケティング施策の推進、店舗の全面改装に取り組んでいます。従来の回転レーンをなくして、“できたて”をお届けするフルオーダー改装、スマホオーダー、セルフレジ、自動案内システムの導入などを進めると共に、「かっぱ寿司、うまい! 品質宣言」により回転寿司屋を超える“寿司屋品質”の実現を目指しています。「かっぱ寿司」は国内に303店舗。“回転寿司のパイオニア”として、お客様へより美味しく安全・安心、リーズナブルなお食事の提供に努めて参ります。



かっぱ寿司 (外観)



かっぱ寿司



自動案内システム



かっぱ寿司



## 大戸屋ホールディングス

### 国内外で「大戸屋ごはん処」を展開 健康的で美味しい「にっぽんの食卓ごはん」を提供

家庭らしさのある定食メニューを充実させている「大戸屋ごはん処」を国内外の直営店とフランチャイズ事業にて展開しています。大戸屋独自の228項目もの厳しい添加物基準で厳選した食材を使用。栄養バランスのとれた、健康的で美味しい「にっぽんの食卓ごはん」を提供する定食屋チェーンとして、幅広いお客様に支持されています。“大戸屋”ブランドの冷凍食品は全国の主要スーパーマーケット、オンラインショップでの販売もスタート。「大戸屋のお弁当」のテイクアウト、デリバリーともあわせて、大戸屋ならではの“ほっとする味わい”をいつでもご家庭でお楽しみ頂けるようになりました。



大戸屋 (外観)



冷凍食品



大戸屋



大戸屋のお弁当

## グループ会社紹介



コロワイドグループ全体の  
マーチャンダイジング機能の要として

商品開発、生産・調達、製造、そして物流までのバックヤード業務を支える要として、グループのマーチャンダイジングの中核を担っています。

2022年10月から稼働開始したMD研究所ではグループ一括で調達する食材を起点とした各業態メニューの開発が行われており、コスト削減と品質向上の両立も実現しております。また持続的な食材調達の取組みとして、神奈川工場に大豆ミート製造ラインを新設しました。更には一次産業への参加も検討を進めており、農業生産法人との連携、植物工場の建設、陸上養殖サーモンの生産に向けた準備などを進めております。

今後もグループ全体の購買力の活用、内製化による価格低減の実現、そして安全・安心な基準により、お客様価値とグループ利益の最大化を目指して参ります。



物流拠点



三保工場



MD研究所



セントラルキッチン



美味しさと安全・安心の「食」を提供  
グループの「デリカ事業」を牽引

全国5工場で製造した調理パン、米飯、惣菜、寿司、デザート類を関東、北陸、東海、関西、九州地方の大手スーパー、コンビニ向けに販売する「デリカ事業」を展開しています。食品安全マネジメントの国際規格であるISO22000認証に基づく業界最高水準の食品衛生管理を徹底。安全・安心の「食」の提供を追求しています。



「ステーキ宮」  
創業時の味を守り続ける

「ステーキ宮」で創業時から使用され、多くのファンを抱える「宮のたれ」の製造及び販売を行っています。

約3週間熟成される独特な風味のたれは、原材料はタマネギ・ニンニク・本醸造醤油・醸造酢と極めてシンプル。余計なものを一切加えず、保存料不使用・非加熱処理で生野菜の風味を最大限に生かしています。



外食市場で磨き抜かれた  
安全・安心で美味しい給食の普及を目指して

事業所給食に始まり、現在は学食、官公庁、病院向け計14事業所の給食を受託、運営しています。外食市場で磨き抜かれたメニュー開発力と「味」へのこだわり、セントラルキッチンを活用したコストダウンの実現、HACCPに基づいた衛生管理の徹底などにより、安全・安心で美味しい給食の更なる普及を目指しています。



## FRESHNESS BURGER

上質な食生活を提案する  
「大人がくつろげるバーガーカフェ」

こだわりの食材とくつろげる空間が評判の「フレッシュネスバーガー」を163店舗運営しています。

環境保全の取組みの一環としてご用意しているソイ(大豆)パティは、豆独特の香りが少なく、お肉と遜色ない食感や食べ応えが特長です。



WOLFGANG PUCK

ウルフギャング・バック氏プロデュースによる  
本格的カリフォルニアレストラン

アカデミー賞®公式シェフ、ウルフギャング・バック氏がプロデュースするカリフォルニアレストランを運営しています。カジュアルに楽しめるパスタ&ピッツアから本格的ディナー、ウェディング二次会など様々なシーンでご利用頂けます。



生チョコ発祥のお店から、  
心のこもった洋菓子をお届け

1988年この世界でたった一粒の生チョコレートが、シルスマリアの工房で当時の職人の手によって生まれ「生チョコ」と命名されました。その後何人もの職人の手によって伝統は継承され、未来に残るスペシャルな味を作り続けています。



ノーマライゼーションの理念に基づき、  
社会参加の機会を拡大

「障がい者の社会への完全参加と平等」の理念に基づき特例子会社として設立されました。各種販促ツールの制作から請求書処理、野菜の一次加工など、障がいのある社員も他の社員と同様、活躍のフィールドを広げています。



## 海外グループ

### ■REINS INTERNATIONAL (USA) CO.,LTD.

北米における直営飲食店の運営及びFC事業  
※子会社9社を含む

### ■台湾瑞滋國際股份有限公司

台湾における直営飲食店の運営

### ■東京牛角股份有限公司

台湾における直営飲食店の運営及びFC事業

### ■REINS INTERNATIONAL (SINGAPORE) PTE.LTD.

東南アジアにおける直営飲食店の運営及びFC事業  
※子会社1社を含む

### ■REINS INTERNATIONAL (THAILAND) Co.,LTD

タイにおける直営飲食店の運営

### ■PT.REINS MARINDO INDONESIA

インドネシアにおける飲食店の運営及びFC事業

### ■COLOWIDE VIETNAM.,JSC.

ベトナムにおける直営飲食店の運営

### ■カッパ・クリエイト코리아株式会社

韓国における直営飲食店の運営

### ■COLOWIDE ASIA CO.,LTD.

海外(アジア)での製造及び店舗展開における投資会社

### ■AMERICA OOTOYA INC.

アメリカ合衆国における直営飲食店の運営  
※子会社1社を含む

### ■香港大戸屋有限公司

香港における直営飲食店の運営

### ■OOTOYA ASIA PACIFIC PTE. LTD.

シンガポールにおける直営飲食店の運営

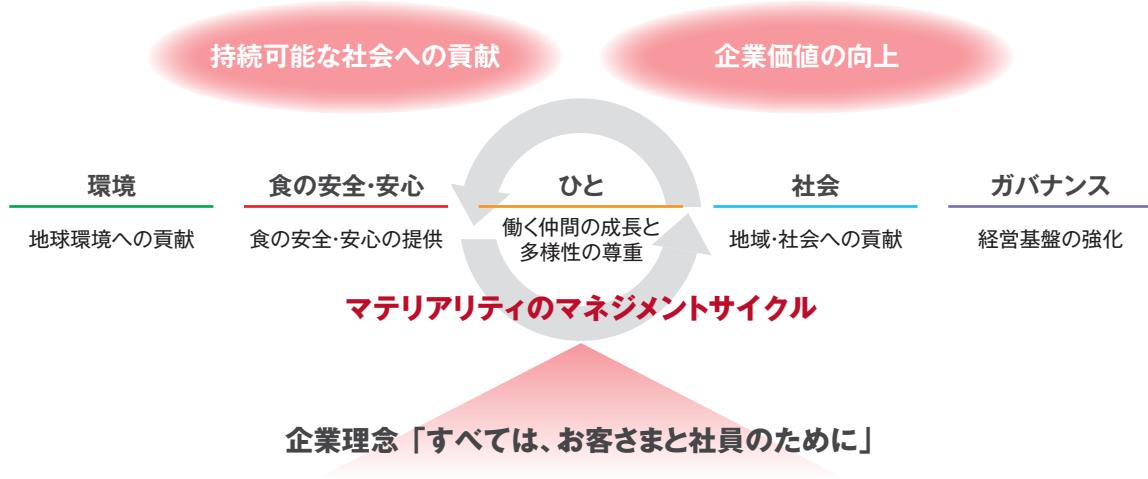
### ■M OOTOYA (THAILAND) CO.,LTD.

タイにおける直営飲食店の運営  
※関係会社1社を含む

# コロワイドのサステナビリティ経営

## 基本方針

私たちは、企業理念である「すべては、お客さまと社員のために」の考えのもと、食のインフラの担い手として、社会の持続可能な発展への貢献と企業価値の向上を目指します



マテリアリティ	考え方	取組み事例
地球環境への貢献	「地球環境への貢献」は次代への責務であり、気候変動の緩和、循環型社会の形成に向けて、再生可能エネルギーの安定的利用や資源の有効活用に取り組んでいく	<ul style="list-style-type: none"> <li>・CO<sub>2</sub>排出量の削減 (2030年度までにCO<sub>2</sub>排出量2020年度対比50%)</li> <li>・サステナブルフーズの普及 (PBF、培養肉他)</li> <li>・プラスチック使用量の削減 (2023年度までに特定プラ5品目全量環境配慮型に)</li> </ul>
食の安全・安心の提供	「食の安全・安心の提供」は外食企業として持続可能な成長の基盤。バリューチェーン全般における衛生管理と品質の追求、情報公開などを通じてお客様の信頼に応えていく	<ul style="list-style-type: none"> <li>・衛生管理体制の強化 (HACCPに基づく衛生管理)</li> <li>・情報公開の強化 (原産地情報、アレルゲン開示)</li> <li>・食材のトレーサビリティ (原料原産地情報の管理)</li> </ul>
働く仲間の成長と多様性の尊重	「働く仲間の成長と多様性の尊重」はサービス業として欠かさない競争力の源泉。従業員が働きやすく、それぞれの成長を目指す職場環境を提供していく	<ul style="list-style-type: none"> <li>・JOB型人事制度</li> <li>・女性活躍の推進 (女性社員比率・女性管理職比率 2026年度までに各30%)</li> <li>・外国人雇用の促進</li> </ul>
地域・社会への貢献	「地域・社会への貢献」は持続的かつ安定的な事業運営に欠かせぬもの。雇用創出・人材育成を通じた地域経済振興、食育や寄付を通じた地域交流促進に努めていく	<ul style="list-style-type: none"> <li>・子ども食堂の運営</li> <li>・フードバンクへの寄付</li> <li>・地産地消に向けた食材調達</li> </ul>
経営基盤の強化	経営の透明性を確保しつつ、戦略の立案・実行及び監査を継続 不断の取組みとして充実させることは、「経営基盤の強化」につながるもの	<ul style="list-style-type: none"> <li>・コーポレートガバナンスの強化 (社外取締役構成比率の向上)</li> <li>・コンプライアンス意識の向上</li> <li>・リスクマネジメント体制の強化 (3つのディフェンスラインによるリスク管理)</li> </ul>

# 連結財務諸表(IFRS)

## 連結財政状態計算書

(単位：百万円)

	前 期 2022年3月31日現在	当 期 2023年3月31日現在
<b>資産</b>		
流動資産	70,936	69,312
非流動資産	196,762	192,547
<b>資産合計</b>	<b>267,698</b>	<b>261,859</b>
<b>負債</b>		
流動負債	78,709	86,494
非流動負債	128,959	124,664
<b>負債合計</b>	<b>207,668</b>	<b>211,158</b>
<b>資本</b>		
親会社の所有者に帰属する持分合計	50,300	42,745
資本金	27,905	27,905
資本剰余金	40,424	40,482
自己株式	△159	△143
その他の資本の構成要素	△450	△327
利益剰余金	△17,421	△25,172
非支配持分	9,730	7,956
<b>資本合計</b>	<b>60,030</b>	<b>50,701</b>
<b>負債及び資本合計</b>	<b>267,698</b>	<b>261,859</b>

## 連結損益計算書

(単位：百万円)

	前 期 2021年4月1日から 2022年3月31日まで	当 期 2022年4月1日から 2023年3月31日まで
売上収益	175,627	220,830
売上原価	78,939	96,619
売上総利益	96,688	124,212
販売費及び一般管理費	90,555	124,408
事業利益又は事業損失(△)	6,133	△196
その他の営業収益	2,516	2,051
その他の営業費用	3,594	8,598
IFRS営業利益又はIFRS営業損失(△)	5,055	△6,743
金融収益	897	1,223
金融費用	3,902	2,926
税引前利益又は税引前損失(△)	2,051	△8,446
法人所得税費用	△1,017	133
当期利益又は当期損失(△)	3,068	△8,579
当期利益又は当期損失(△)の帰属		
親会社の所有者	1,437	△6,801
非支配持分	1,631	△1,778
当期利益又は当期損失(△)	3,068	△8,579

## 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前 期 2021年4月1日から 2022年3月31日まで	当 期 2022年4月1日から 2023年3月31日まで
営業活動によるキャッシュ・フロー	23,830	28,783
投資活動によるキャッシュ・フロー	△3,522	△8,788
財務活動によるキャッシュ・フロー	△9,511	△18,755
現金及び現金同等物に係る換算差額	△686	292
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	10,111	1,532
現金及び現金同等物の期首残高	38,422	48,534
現金及び現金同等物の期末残高	48,534	50,066

※事業利益＝売上収益－売上原価－販売費及び一般管理費

## 株主様ご優待のご案内

### 株主様ご優待 商品のご案内

株主様ご優待ポイントで  
お申込みいただけます。

株主様ご優待ポイントでお申込みいただけます。是非、お試しください。

\*本商品は、天候その他やむをえない事情で変更またはお取り扱いを終了する場合がございます。\*写真はすべてイメージです。

○掲載商品は2023年7月～12月末日までの引換商品です。

ご優待商品のお問い合わせは、株主様ご優待ポイントサービスセンター ☎

0570-03-0312

045-228-9671

9:00～20:00（年中無休）

1

#### 国産黒毛和牛サーロインステーキ 【宮のたれ】付き

冷凍



1万2千ポイント

黒毛和牛のサーロインステーキとこだわりの「宮のたれ」をセットでお届け。

2

#### パンノウ水産 海鮮丼キット

冷凍



6千ポイント

キハダ鮭・びんちょう鮭・銀鮭をゴロっど角切りにしました。韓国風たれはユッケ丼に、ハワイ風たれはアヒボキ丼にしてお召し上がりください。

3

#### はまやカレー カレーキット

冷凍



6千ポイント

横浜ランドマークタワー1階のはまやカレー。お店の味をご家庭でもお楽しみください。

4

#### 自家製 ジャンボしゅうまい

冷凍



5千ポイント

1個約40gのジャンボサイズ。食べる分だけ蒸してアツアツのしゅうまいをご家庭でお楽しみください。

5

#### 自家製 ジャンボ餃子

冷凍



5千ポイント

甘太郎本店名物自家製ジャンボ餃子。肉汁たっぷりアツアツ餃子を是非ご賞味ください。

6

#### ステーキ宮 ハンバーグと【宮のたれ】セット

冷凍



5千ポイント

ハンバーグと「宮のたれ」をセットにしてお届け。ご家庭でお店の味をお楽しみいただけます。

7

#### シルスマリア 生チョコレート 3種のセット

冷蔵



5千ポイント

生チョコ発祥の店「シルスマリア」。人気の生チョコ3種類（シルスミルク、シルスピスター、スノーベリー）を詰め合わせました。

8

#### 大豆で作った 【ガバオ】・【キーマカレー】・【タコライス】

冷凍



4千ポイント

お肉を一切使用せずに【ガバオ】・【キーマカレー】・【タコライス】を美味しくヘルシーに再現しました。

9

#### ラ・パウザ レインフォレスト認証 ドリップトップコーヒー

ポスト投函



2千ポイント

ラ・パウザではレインフォレスト・アライアンス認証を取得したコーヒー豆を提供しております。ご家庭でお楽しみいただけるよう、ドリップトップでお届けします。

株主様ご優待  
カードにて  
ご利用いただける  
店舗

コロナワイドでは、500株以上保有の株主の皆様に、コロナワイドグループでご利用いただける株主様ご優待ポイント(1万円相当)を、年4回「株主様ご優待カード」に付与させていただきます。

※詳細はホームページをご確認ください。

○3月末日の株主様… 6月と9月に付与(合計2万円相当) ○9月末日の株主様… 12月と3月に付与(合計2万円相当)

店舗情報・ご予約は <https://www.colowide.co.jp/gs>

※都合により店舗は予告なく閉店することがございますので、あらかじめご容赦ください。

甘太郎	フレンチーナ	炭火焼処 鳥の蔵
いろはにほへと	ステーキ宮	和牛ステーキ 桜(那須高原店)
北海道	にぎりの徳兵衛	小さな森珈琲
やきとりセンター	寧々家	CANTINA
ラパウザ	カルビ大将	なぎさ橋珈琲
三間堂	時遊館	カフェ&ピヤレストラン 宮
轟眞屋	味のがんこ炎&がんこ亭	NIJYU-MARU
ウルフギャング・パックス	かつ時	かっぱ寿司
ほのぼの横丁	海へ	KITEKI
カラオケ デイ・トリッパー	和処ダイニング暖や	みなとみらい食堂
3・6・5酒場	海鮮アトム	M.M MARKET&CAFE

コロナワイドグループ店舗のうち、牛角・温野菜・かまどか・土間土間・酒場ぶつちぎり・牛角食べ放題専門店・牛角焼肉食堂・とんかつ神楽坂さくら・あじフライ神楽坂・鮎処「濱」・BAR「馬車道」・濱一貫・バンノウ水産・シルスマリア・フレッシュネスバーガー・FRESHNESS/パン工房・焼肉飛車角・LITORANEO・はまやカレー・大戸屋ごはん処・大戸屋おかず処・海外店舗等では、ご利用いただけませんので、ご了承ください。詳しくは、弊社ホームページをご確認ください。

2023年6月末現在

## 会社概要 (2023年3月31日現在)

商号：株式会社コロワイド  
所在地：神奈川県横浜市西区みなとみらい二丁目2番1号  
ランドマークタワー12階  
設立：1963年4月  
資本金：279億5百万円  
主な事業内容：1. 飲食店の経営  
2. 各種食品品の仕入販売及び加工販売  
3. 煙草、酒類の販売  
4. カラオケルームの経営

## 役員 (2023年3月31日現在)

代表取締役会長	蔵人金男
代表取締役社長	野尻公平
取締役	磯野健雄
取締役	松見大輔
社外取締役	李野純子
社外取締役	藤山雄治
取締役監査等委員	宇田猛
社外取締役監査等委員	谷充史
社外取締役監査等委員	福崎真也
社外取締役監査等委員	熊王斉子

## 株主メモ

事業年度：毎年4月1日から翌年3月31日まで  
定時株主総会：毎年6月開催  
基準日：定時株主総会 毎年3月31日  
期末配当金 毎年3月31日  
そのほか必要があるときは、あらかじめ公告して定めた日

【株式に関する住所変更等のお届出及びご照会について】  
証券会社に口座を開設されている株主様は、住所変更等のお届出及びご照会は、口座のある証券会社宛にお願いいたします。証券会社に口座を開設されていない株主様は、下記の電話照会先にご連絡ください。

株主名簿管理人及び特別口座の口座管理機関

東京都千代田区丸の内一丁目4番1号  
三井住友信託銀行株式会社

株主名簿管理人  
事務取扱場所

東京都千代田区丸の内一丁目4番1号  
三井住友信託銀行株式会社

(郵便物送付先)

〒168-0063  
東京都杉並区和泉二丁目8番4号  
三井住友信託銀行株式会社 証券代行部

(電話照会先)

☎ 0120-782-031

(インターネットホームページURL) <https://www.smb.jp/personal/procedure/agency/>

【特別口座について】  
株券電子化前に「ほふり」(株式会社証券保管振替機構)を利用されていなかった株主様には、株主名簿管理人である上記の三井住友信託銀行株式会社に口座(特別口座といいます。)を開設いたしました。特別口座についてのご照会及び住所変更等のお届出は、上記の電話照会先をお願いいたします。

公告方法：電子公告

上場証券取引所：東京証券取引所

## 株式の状況 (2023年3月31日現在)

発行可能株式総数	普通株式	112,999,820株
	優先株式	30株
	第2回優先株式	50株
	第3回優先株式	100株

発行済株式の総数	普通株式	86,903,541株
	優先株式	30株
	第2回優先株式	30株
	第3回優先株式	90株

単元株式数	普通株式	100株
	優先株式	1株
	第2回優先株式	1株
	第3回優先株式	1株

株主数	普通株式	106,290名
	優先株式	1名
	第2回優先株式	1名
	第3回優先株式	1名

## 大株主

株主名	持株数	持株比率	
		千株	%
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	8,364		9.7
株式会社サンクロード	5,766		6.7
蔵人良子	4,062		4.7
蔵人賢樹	2,864		3.3
蔵人金男	2,683		3.1
株式会社日本カストディ銀行(信託口)	1,423		1.6
鈴木理永	1,094		1.3
STATE STREET BANK WEST CLIENT-TREATY 505234	552		0.6
JP MORGAN CHASE BANK 385781	500		0.6
野村證券株式会社自己振替口	466		0.5

(注) 持株比率は自己株式(223,977株)を控除して計算しております。

